

第217回イタリア映画鑑賞会

入場無料

- 日 時：2025年6月20日(金)18:00開場／18:30開演(20:00頃終演予定)
- 会 場：あじびホール
(福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館8階／TEL 092-263-1100)
- 入 場 料：入場無料／先着100名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第217回上映作品

『殿方は嘘吐き Gli Uomini...che Mascalzoni ! 』

(1932年62分 イタリア語/日本語字幕)

監 督／ マリオ・カメリーニ
脚 色／ マリオ・ソルダーティ
原 作／ マリオ・カメリーニ、アルド・デ・ベネデッティ
撮 影／ マッシモ・テルツァーノ、ドメニコ・スカラ
音 楽／ C. A. ビクシオ
「挿入歌」マリウ、愛の言葉を
出 演／ ヴィットリオ・デ・シーカ、リア・フランカ、チェサーレ・ゾペッティ
アルド・モスキーノ、マリア・モンテサーノ

「自転車泥棒」や「ひまわり」などの監督、ヴィットリオ・デ・シーカは監督の名の方が有名な気がする。しかし、若い頃はイタリアのケーリー・グラントと言われる程の人気スターだった。

1901年7月7日、ローマとナポリの中間、ソーラに生まれ、父親が銀行の下級行員で転住したナポリで育つが、父は男前の息子を俳優にしたかった。しかし、本人は計理士を目指していた。

たまたま、友人の劇団が俳優を探していて自信がないまま劇団に入り、映画に出演すると、その明るく、スマートな個性やセックスアピールで、女性観客から圧倒的な人気を集めた。

その中でもファシズム期に都会に生きる若者の恋愛ドラマを得意とするマリオ・カメリーニ監督の「殿方は嘘吐き」で一番人気のスターになった。

ミラノの街でタクシー運転手の父と二人暮らしの娘に一目惚れした青年は、彼女に猛アタック。娘も彼に惹かれるものの、次から次へと難題が…。二人の恋はうまくいくのだろうか…？

お楽しみに！

(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・清家・古賀
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp